

政府や地方自治体の 経済活動を分析する

赤木 博文 教授

Prof. Akagi Hirofumi

都市と財政

2年後期 / 専門部門(財政行政科目群)

政府・地方自治体の在り方をまず「疑ってみる」

— この講義では、どのようなことを学びますか。

政府や地方自治体の経済活動を分析する「財政学」を学びます。経済には市場メカニズムだけではうまくいかない分野が存在するため、政府にはそれを補完する役割があり、公共財や社会保障がそれにあたります。政府に求められる役割に加え、現在の予算制度や選挙などを経済学的に分析する公共選択論なども学びます。財政学に関するスタンダードな学説について、身近な事例を挙げて紹介することで、内容を理解しやすい講義になるよう、心がけています。

— 講義を通して、どのようなことを身につけてほしいですか。

政府や地方自治体は、学生たちが生まれたときから当たり前機能している存在です。きつと「なぜ政府が必要なのか?」という疑問なんて微塵も持つことなく暮らしてきたと思います。しかしこの「なぜ?」「どうして?」と疑問を持つことこそが、学問の進歩につながってきました。講義では、**まず政府や地方自治体を批判的に見る目を養ってほしい**と思っています。政府や地方自治体の理想の姿を知れば、現状が理想と乖離していることに気づけるはずです。「政府や自治体は常に正しいものだ」「間

違うはずがない」と妄信するのではなく、現実の政府や地方自治体の行動を疑ってみることが学問の始まりであり、自分たちの暮らしをより良くしていく一歩になります。また、**私たち選挙民が政府や自治体の経済活動を厳しく見る目を持つことは、政府や自治体のレベルを引き上げることにもつながります**。この講義では、その判断に役立つ知識や考え方を身につけてほしいと思っています。

さまざまな学問の考え方、ものの見方に触れよう

— 都市情報学部で、どのようなことを学んでほしいですか。

財政や経済学的な考え方を身につけることを通して「疑問を持つてみる習慣」をつけてほしいと思っています。この学部には様々な分野を専門とする優秀な先生方がそろっていて、それぞれの学問や分野に、特有のものの方・考え方があると思います。都市計画や情報、経済などを広く学び、柔軟に吸収していくことで、いろいろなものの方や考え方に触れてほしいと思っています。

学生生活はあっという間です。貴重な4年間のうちに、自分の柱になるようなものを見出し、充実した日々を送ってほしいです。



現代経済学 — 価格分析の理論 —

小宮 隆太郎、兼光 秀郎 著 (創文社)



初版は1973年。数学を用いて経済学を表現しており、ミクロ経済学を学ぶ学生にもおすすめです。理解しにくいところもあるかもしれませんが、今改めて読んでも学びがあります。大学時代にこの本に出会い、研究者を目指すきっかけとなった原点のような一冊です。

学生におすすめの一冊

学生の声

財政制度の現状と問題点について体系的に学ぶため、社会的インフラなどの公共支出論、消費税や所得税などの租税論、国の借金についての公債論といった基礎的知識を深める講義です。財政学は難しそうイメージでしたが、先生が身近な例を挙げてくださるので理解しやすく、考察を深めることができます。

棚橋 美桜さん(2年生)

